

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	茨木市立児童発達支援センターあけぼの学園			
○保護者評価実施期間	令和7年1月30日		～	令和7年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64	(回答者数)	63
○従業者評価実施期間	令和7年1月30日		～	令和7年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	38
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、個別支援計画が作成され、個別支援計画に沿った支援が行われている。また、こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援ができている。	児童発達管理責任者とクラス担任間との意見交換だけでなく、心理判定員や言語聴覚士、作業療法士とも必要に応じて意見交換を行いながら個別支援計画の作成しています。また、内部講師、外部講師による研修会等が年間10回程度、他にも他事業所への施設見学、他機関で行っている研修への参加、大阪府の障がい児通所支援事業者等育成事業を活用してスーパーバイズを受けるなど、職員のスキルアップに向けて取り組んでいます。	・お子さん一人ひとりに合わせた支援計画の作成や具体的な支援ができるよう、様々な研修等を実施するだけでなく、グループスーパービジョン等も行いながら、職員のスキルアップを図ってまいります。
2	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされており、定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われている。また、日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができています。	安心してあけぼの学園をご利用いただくことやよりお子さんの理解につながるよう、連絡帳や電話に等によるやり取りやクラス便りなどの配布物の発行を行っています。また、参観の機会に限らず、様子を見ていただく機会の提供をしておりますので、希望される方はご連絡ください。	・支援目標に記載されている目標についての様子なども含め、園での日ごろの様子や変化などを見ていただけるよう、クラス懇談時にビデオ撮影したものをご覧いただくなどの工夫をしてまいります。また、気軽に質問していただいたり様子を見に来ていただけるようよう、アナウンスしてまいります。
3	事業所の職員から共感的に支援をされていると感じる。事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会の開催や情報提供の機会が設けられている。	育児には保護者との連携が欠かせません。そのひとつの取り組みとして、こどもの理解に関することだけでなく、保護者のみなさまが元気になっていただけるようにとの思いをもって研修会や参観、懇談会など実施しています。	今後も保護者の方のニーズを踏まえながら、提供するテーマを考えて企画していきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保され、こども達の活動に合わせた空間となっているか。また、生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思うか。職員の配置数も適切であるかという点について	昭和49年開設の事業所になり、その時々事業に合わせて、建て増しを行い、年次計画で改修等を行っております。清潔面では清掃等にも十分配慮しております。経年劣化に対しては、限りある財源を有効に活用するため、優先部分を中心に改修を行っております。	少しでも気持ちよく利用していただけるよう、配慮して清掃を行います。まあ、改修につきましては、年次計画をたて進めていきます。また、こどもの支援に関しましては、適切な支援ができるよう職員全員で協力しながら運営に努めてまいります。
2	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているかという点について	バーテーションや机等の移動を行いながら限られたスペースを有効活用できるように工夫しています。段差の部分についてはバリアフリー化の改修を順次進めているところです。オンラインによる相談などの設備整備は現時点では整っていませんが、今後のニーズや動向をふまえて、検討します	こどもの様子に合わせて、クラス全体の動線や物の配置等の工夫をしていきます。また、こどもの強みなどを考慮して、バーテーションや手順書、具体物等を活用し、こども一人ひとりに合わせた支援を考えていきます。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか。また、事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われている事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。という点について	ホームページの充実に向けて、月1回の更新を目安にしています。ホームページの更新のお知らせを含め、周知や内容の充実を図っていきます。各種マニュアルを作成し、毎月の避難訓練をはじめ、定期的な事故対応訓練、感染症に対する訓練等を行っております。安全に関する取り組みについて、重要事項説明書や連絡帳等で説明している部分もありますが、周知や説明が十分でなかった面もありましたので、今後、周知や説明の仕方を考えていきたいと思っています。	ホームページ更新のお知らせを園便り等に掲載し周知を図ります。また、保護者の声を聞き、よりニーズに沿った情報を掲載できるよう努めてまいります。避難訓練等の計画や各種マニュアルの閲覧などについて、周知を行っていきます。また、参観時に避難訓練を行うなど、訓練の様子をイメージしてもらえよう取り組みを考えてまいります。